

# 平成24年度（第8期） 「森林セラピー®基地」「セラピーロード®」 応募要領

## 1. 目的

近年、生活習慣病やメンタルヘルス不全が社会問題化しつつある中で、予防医療の重要性が科学的にも立証され、予防医療法を重視した法制度が確立されつつあります。一方で、森林が有する快適性増進効果やリラックス効果の医学的解明が飛躍的に進展し、森林医学の学問的体系が構築されつつあり、各種メディアに加え、医療・保健機関からの森林セラピー®への注目も高まり、健康維持・増進や生活習慣病予防、メンタルヘルスケアに資する森林セラピー®の諸実践の成熟が期待されています。

その際に、森林医学の科学的なエビデンスにもとづいた森林整備と、一定の品質を保持したメニュー等を提供する受入態勢等の整備が重要であり、そのことが継続性・発展性のある森林セラピー®づくりには不可欠です。

このため、森林における生理・心理・実験（以下「フィールド生理実験」という）による科学的検証等と、自然・社会条件等の現地調査を通して、森林セラピー推進の拠点として機能する「森林セラピー®基地」や「セラピーロード®」を審査・認定することとし、第7期募集を行います。

また併せて全国各地で地域特性を活かした多彩な「森林セラピー®基地」や「セラピーロード®」をネットワーク化することで多様性のある魅力的な森林セラピー®の全国的な普及・定着・発展を進め、新たな森林を活かした地域振興等にも寄与することを目的とします。

## 2. 公募対象および申請者

下記に示す「森林セラピー®基地」および「セラピーロード®」に該当する歩道および各種施設・人材等を含む森林地域を対象とします。なお、今後それらの整備が予定されている歩道や森林地域も対象となります。

### (1)森林セラピー®基地

複数の「セラピーロード®」を擁する森林地域と、健康維持・増進等に資するメニュー等を提供する施設等を擁するコアゾーン（セラピーフィールド）等により構成される一定のエリア。

その「森林セラピー®基地」が目指す機能が発揮できる面積の森林地域（例えば300ha等）及び施設等を有するコアゾーン等を有する。

主として健康維持・増進等に資するセラピーメニューの提供がなされるとともに、健康評価がサービスの1つとして組み込まれているエリア。①近郊タイプ（地域住民利用型）、②郊外タイプ（日帰り・短期滞在型）、③森林保養地タイプ（長期滞在型）等が例として考えられますが、その他にも地域の自然・社会条件に合わせて特色ある「森林セラピー®基地」が想定されます。

## 《参考》森林セラピー®基地のタイプ(例)

### ①近郊タイプ(地域住民利用型)

地域住民等の身近な森林散策コースとして、日常的に親しまれるセラピーロード®を有するほか、休憩や軽い食事がとれる施設・空間を有する。地域住民等が健康維持・増進に取り組めるようなセラピーメニューが用意され、一定の頻度で通う。

### ②郊外タイプ(短期滞在型[日帰り・1泊等])

基地の近隣の都市部や遠隔地からの来訪者の短期滞在が可能なように、複数のタイプのセラピーロード®を含む森林と、簡易な施設から成る。多様なセラピーメニューを提供すべく、セラピストやインストラクター等が配置され、健康維持・増進等の活動をサポートする。

### ③森林保養地タイプ(中長期滞在型)

遠隔地から来訪者が中長期滞在が可能なような保養地環境が形成され、複数かつ中長距離のセラピーロード®を含む森林と、コアゾーンに多様なセラピーメニュー等の提供を行う拠点施設や中長期滞在が可能な滞在施設から成る。複数のセラピーメニューを含む多様な保養プログラムを提供すべく、セラピストやインストラクターが配置されるとともに、医療・保健機関等との連携によるケアも可能。

地域の特色を活かして、運動療法、食事療法、水療法、作業療法、芳香療法から気功法や自立訓練法、カウンセリング等の多彩なセラピーメニューが提供され、さらにインドア型の音楽、工芸などカルチャー体験もできる。ゴルフ場などリゾート保養施設との複合的施設となるケースもあります。

※なお、来訪者向けの拠点施設がある場合は、基地のエリアが独立して複数存在する形態も可能とします。

## (2)セラピーロード®

20分間の歩行距離を原単位(1ユニット)とし、森林内の「セラピーロード®」が目指す機能が発揮できる距離を有する歩道および歩道群。主として緩傾斜から成り、道幅は一般の歩道より広く(1.2m)、バリアフリーおよびそれに準ずる歩道を含んだ森林内の歩道および歩道群。周辺の森林整備等を含めて維持管理がなされ、「セラピーロード®」の利用を通じた健康維持・増進等に資する情報の提供等がなされている。

## 3. 申請者

一定距離の「セラピーロード®」及び一定面積の森林がある自治体、民間企業、団体、およびこれらの共同体等が申請することができます。審査では、フィールド生理実験等を行います。この実施に向けた現地における準備や調整、及び費用負担は申請者にして頂くこととなりますので、あらかじめ、ご了承下さい。

### ※申請者の役割について

- フィールド生理実験等の実施に向けて、各種準備・調整等を行う担当者をご手配頂きます。
- フィールド生理実験等の費用(生理・心理実験試料代、分析委託料、実験機材運搬・リース料、会議室使用料、被験者料、被験者旅費、実験実施者人件費、実験実施者旅費・保険料等)等をご負担頂きます。
- フィールド生理実験等の期間中(2～3日間程度)に、実験補助者(被験者誘導、機材運搬、現地調整等として8名以上)、実験者及び被験者の移動手段等をご手配頂きます。
- フィールド生理実験等に向けて、被験者(男子学生12名)の募集、及び申請箇所の森林部、実験対象とする都市部の測定箇所と被験者待機場所の確保頂きます。

※申請者には、後日、詳細を記した「手引き」を配布致します。

#### 4. 申請方法

申請用紙に必要事項を記入し、申請書類一式と関連資料等を事務局へ提出して下さい。

提出物	ロード	基地
①セラピーロード®審査申請書(様式1)	○	-
②森林セラピー®基地 審査申請書(その1)(様式2)	-	○
③森林セラピー®基地 審査申請書(その2)(様式2)	-	○
④生理・心理実験調書(様式3)	○	○
⑤セラピーロード®を示した地形図1種(全体図:1/25,000)	○	○
⑥森林セラピー®基地を示した地形図1種(全体図:1/25,000)	-	○
⑦参考写真(15~30枚程度)	○	○
⑧当該地のパンフレット、その他関連資料	○	○

- (1) 記入の際には、当該地の自然・社会環境が把握できるよう、なるべく詳細に記入して下さい。  
第一次審査を経て候補地としてノミネートされた場合、様式に則って記載頂いた情報をもとに、森林セラピーソサエティwebサイトに情報を掲載します。可能な限り詳細な情報をご記入下さい。
- (2) 複数の「セラピーロード®」を申請する場合は、1つの「セラピーロード®」につき1式ご用意下さい。
- (3) ①~④の申請書類は、森林セラピーソサエティwebサイト(<http://fo-society.jp/>)よりダウンロードできます。
- (4) ⑤、⑥の地形図の記入方法については、別添「地形図記載要領」をご参照下さい。
- (5) ⑦の参考写真は、特徴的な箇所を中心にタイトルと解説を加えて作成して下さい。(様式は任意)

#### 《提出方法》

- (1) 申請書類一式は、A4サイズのファイルに綴り2部(正1部、コピー1部)ご提出下さい。
- (2) ファイルの表紙及び背表紙には、申請箇所名及び申請団体名をご記入下さい。

#### 《提出先》

NPO法人 森林セラピーソサエティ

〒102-0084 東京都千代田区二番町3-11パシフィックスクエア麹町8階

Tel:03-3288-5591 Fax:03-3288-5592

#### 《申請締め切り》

平成24年1月31日(火)必着

## 5. 審査基準

- ・「森林セラピー®基地」は以下の①～⑧の基準をもとに審査致します。
- ・「セラピーロード®」は以下の①～④の基準をもとに審査致します。

- ①森林の有する快適性増進効果やリラックス効果を評価したフィールド生理実験等の結果
- ②五感に働きかける良好な自然環境
- ③当該地へのアクセス等立地条件
- ④「セラピーロード®」の管理主体の有無と管理実態
- ⑤地域の自然的・社会的環境、および自然的・社会的資源の状況(ハードインフラ)
- ⑥地域の受入態勢(推進組織体制、担い手、情報、システム等)の状況(ソフトインフラ)
- ⑦将来構想、継続性・発展性
- ⑧セールスポイント

## 6. 審査方法とスケジュール

平成24年1月31日	●申請締め切り
3月上旬	●審査委員会による第一次審査(書類審査)
4月～6月	●専門家チームによる現地調査及び下見(※現地講演会の開催可能)
7月～10月	●専門家チームによるフィールド生理実験等
平成25年3月	●審査委員会による第二次審査(ロード)
	●ステアリングコミティによる第二次審査(基地)
4月以降	●認定(認定証授与)

#### **(1)審査委員会による第一次審査(書類審査)**

- ・審査委員会が書類等の審査により、フィールド生理実験等のノミネート箇所(以下、基地候補地という。)を選定します。
- ・審査結果は、申請者に通知するとともに、プレスリリースや森林セラピーソサエティwebサイト等で公表致します。

#### **(2)専門家チームによる現地調査及び下見**

- ・専門家チームが、自然・社会条件等の現地調査を行います。
- ・専門家チームが、フィールド生理実験等の実施に向けて、審査希望箇所及び実験対象とする都市部、実験期間中滞在する宿泊施設等を下見します。

#### **(3)専門家チームによるフィールド生理実験等**

- ・専門家チームがフィールド生理実験等を実施します。
- ・実験時は、メディア等による取材を受け付け、地域へのPRにご対応頂けるように致します。

#### **(4) 第二次審査**

- ・専門家チームは、現地調査及びフィールド生理実験等の結果を、「審査基準」に基づいて評価し、その結果を審査委員会に提出します。
- ・専門家チームによる報告書をもとに、審査委員会が審査を行います。

#### **(5)認定の決定**

- ・「セラピーロード®」は、審査委員会が認定の可否を決定します。
- ・「森林セラピー®基地」は、審査委員会がステアリングコミッティに認定の可否を推薦し、ステアリングコミッティが決定します。

## 7. 審査結果

- ・申請者へは、審査結果を通知するとともに、プレスリリース及び森林セラピーソサエティwebサイト等で公表いたします。
- ・認定された「森林セラピー®基地」及び「セラピーロード®」を対象に認定証書を付与致します。
- ・認定された「森林セラピー®基地」及び「セラピーロード®」に関する詳細情報を森林セラピーソサエティwebサイトに掲載します。
- ・関連団体における展示等の各種広報媒体や展示機会にPRいたします。

## 8. お問い合わせ先

<手続きに関する問い合わせ先>

NPO法人森林セラピーソサエティ

〒102-0084 東京都千代田区二番町3-11パシフィックスクエア麹町8階

Tel:03-3288-5591 Fax:03-3288-5592

E-mail:info@fo-society.jp

URL:<http://www.fo-society.jp/>

<フィールド生理実験等に関する問い合わせ先>

○独立行政法人森林総合研究所 環境計画研究室長 香川 隆英

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

Tel & Fax:029-829-8315

E-mail:kagawa@ffpri.affrc.go.jp

URL:<http://ss.ffpri.affrc.go.jp/labs/forscape/kagawa/top.htm>

○千葉大学環境健康フィールド科学センター教授 宮崎 良文

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1

Tel :04-7137-8113 Fax:020-4666-0398

E-mail:ymiyazaki@faculty.chiba-u.jp

URL:<http://www.h.chiba-u.jp/center/research/miyazaki/index.htm>

「セラピーロード®」を示した地形図 記載要領

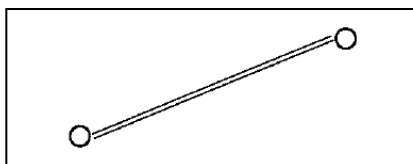
下記の記入方法に倣って「地形図」を作成するとともに、「調書」にも必要事項を記入して下さい。

1. 緊急時の対応の観点から

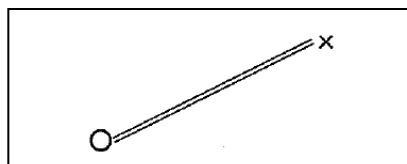
(地図への記入に際して)

- ①ロードが複数ある場合は枝番号を付して記載(A-1、A-2等)
- ②○はアクセスポイント(車が入れる終点)、×は行き止まり。
- ③○と○間、あるいは○と×間の総延長距離を記入して下さい。

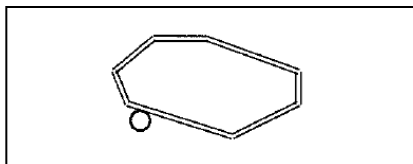
Aタイプ(始点、終点とも車道と連結型)



Bタイプ(行き止まり型)



Cタイプ(周遊型)



その他のタイプ



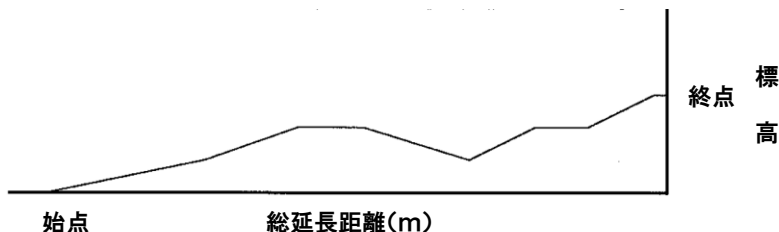
(調書への記入に際して)

- ①○と○間、あるいは○と×間の総延長距離を記入して下さい。
  - ②ロード最深部の地点からアクセスポイントまでの距離・時間(徒歩で)
  - ③アクセスポイントから直近の医療機関までの距離及び時間(車で)
- ※ロードが複数ある場合は、そのロードごとに記載して下さい。

2. 非健常者、高齢者等の利用可能性の観点から

地形図に、ロード全体の勾配の変化状況が把握できる縦断面図を添付して下さい。

※ロードが複数ある場合は、そのロードごとに記載して下さい。



注1)変異点において距離、標高を記載すること。  
 注2)縮尺は自由。

## 1. フィールド生理実験等における各種条件

フィールド生理実験等の実施に係り、申請団体側でご手配頂く必要な要素の基本的な考え方については、下記の通りとなります。(なお、詳細については、説明会においてご説明するとともに、ノミネート箇所配布される「手引き」において詳細に解説致します。また、必要に応じてヒアリング等の際に直接ご相談致しますので、申請段階では厳密である必要はありません。)

要素	条件等
森林部実験箇所 (セラピーロード®)	[視点場] 午前の「座観実験」で使用する代表的な眺望がある箇所。 (但し、できるだけ待機場所の近傍で選定します。)  [ロード] 午後の「歩行実験」で使用する、上記座観場所を始点に、約15～40分の歩行できる区域。出来るだけ傾斜が緩やかで、整備されている区域。
森林部待機場所	座観実験、歩行実験を行う間に被験者(6名)が待機する施設。
都市部実験箇所	[視点場] 国道沿いなど、対象とする都市部の代表的な喧噪がある箇所。  [ロード] 上記座観場所を始点に、約15～40分の歩行実験に使用する区域。歩道があり、被験者が歩行上の安全が担保されている区域。  ※ 対照とする都市部は、その地方の代表的な主要都市で、県庁所在地等とします。(但し、移動時間が森林部から2時間以上要する場合はご相談下さい。)
都市部待機場所	座観実験、歩行実験を行う間に被験者(6名)が待機する施設。
被験者(アルバイト)	実験期間中(2日予備日1日)全行程の参加が可能な男子学生(12名)。対照とする都市部周辺に所在する大学の健康な20歳以上の男子学生が望まれます。

## 2. 現地調査、フィールド生理実験等の下見スケジュール

基本的なスケジュールは、下記の通りとなります。

[1日目] ○ セラピーロード®(森林ウォーキングロード)及び森林セラピー®基地の現地調査

○ フィールド生理実験等に向けたセラピーロード®及び被験者待機場所の下見

[2日目] ○ フィールド生理実験等の実験対象となる都市部及び被験者待機場所の下見